

宮 崎 県 感 染 症 週 報

宮崎県薬務感染症対策課・宮崎県衛生環境研究所

令和7年第4週の発生動向

□ 全数報告の感染症（4週までに新たに届出のあったもの）

- 1 類感染症：報告なし。2 類感染症：結核 1 例。
3 類感染症：報告なし。4 類感染症：報告なし。
5 類感染症：劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1 例、侵襲性肺炎球菌感染症 1 例、梅毒 1 例、破傷風 1 例、百日咳 11 例。

	疾患名	報告 保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	80歳代	男	無症状病原体保有者	なし
5類	劇症型溶血性 レンサ球菌感染症	宮崎市	60歳代	男	—	ショック、腎不全、全身性紅斑性発疹
	侵襲性肺炎球菌感染症	宮崎市	50歳代	男	—	頭痛、発熱、全身倦怠感、肺炎
	梅毒	都城	20歳代	女	早期顕症梅毒Ⅱ期	鼠径部リンパ節腫脹、梅毒性バラ疹
	破傷風	宮崎市	80歳代	男	—	筋肉のこわばり、開口障害、嚥下障害、発語障害

	疾患名	報告 保健所	報告数	年齢群			症状
				5～9歳	10歳代	50歳代	
5類	百日咳	宮崎市	1例			1	持続する咳、夜間の咳き込み、 スタックート、ウーブ
		都城	4例		4		
		延岡	5例	1	4		
		中央	1例	1			

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

・定点医療機関からの報告総数は 1,742 人(定点当たり 37.2)で、前週比 75%と減少した。なお、前週に比べ増加した主な疾患は、新型コロナウイルス感染症、A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎で、減少した主な疾患はインフルエンザであった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

【インフルエンザ】

報告数は 872 人(15.0)で、前週比 48%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値* (53.8) の約 0.3 倍であった。日南(27.8)、日向(23.0)、延岡(21.3)保健所からの報告が多く、年齢群別は 15 歳未満が全体の約 7 割を占めた。

【新型コロナウイルス感染症】

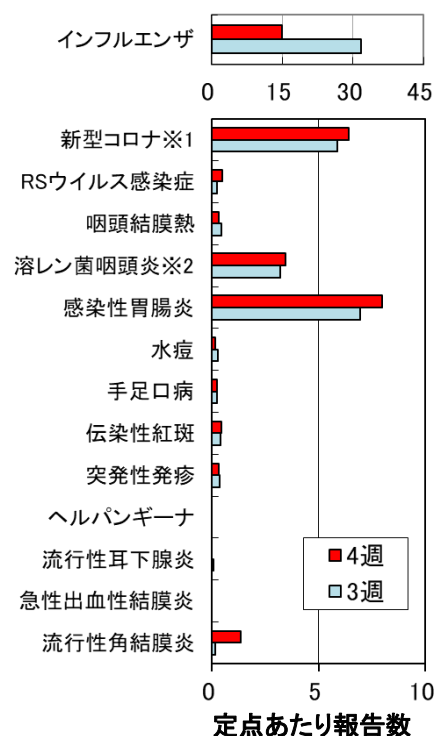
報告数は 372 人(6.4)で、前週比 109%と増加した。高千穂(12.0)、延岡(10.7)、都城(7.8)保健所からの報告が多く、年齢群別は 15 歳未満が全体の約 4 割、60 歳以上が全体の約 2 割を占めた。

【感染性胃腸炎】

報告数は 287 人(8.0)で、前週比 115%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値* (11.2) の約 0.7 倍であった。小林(15.7)、高鍋(9.5)、宮崎市(8.9)保健所からの報告が多く、年齢群別は 1 歳から 3 歳が全体の約 4 割を占めた。

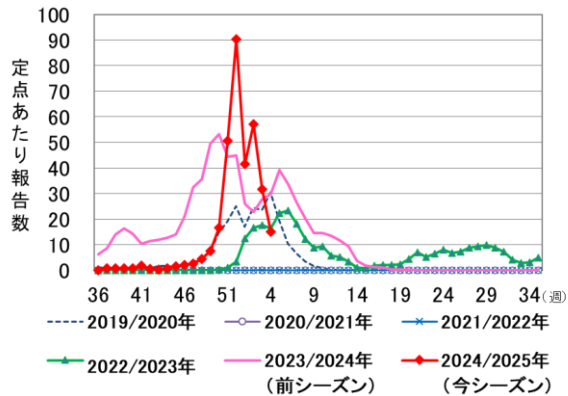
* 新型コロナウイルス感染症流行前 5 年間(2015～2019)の当該週、前週、後週(計 15 週)の平均値

《前週との比較》

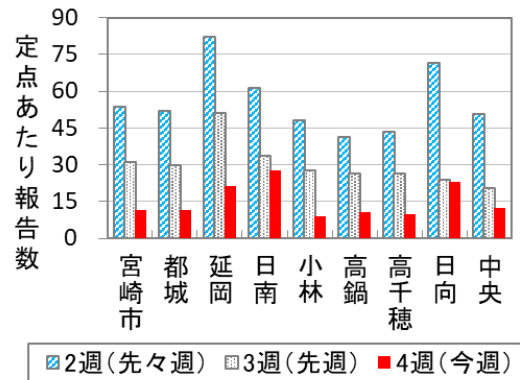


※1 新型コロナウイルス感染症
※2 A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎

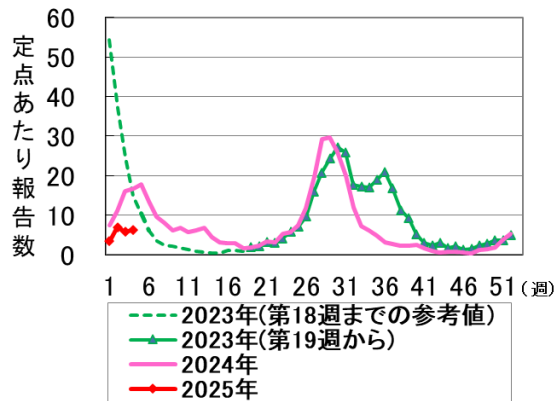
インフルエンザ 発生状況



インフルエンザ 保健所別推移(3週分)

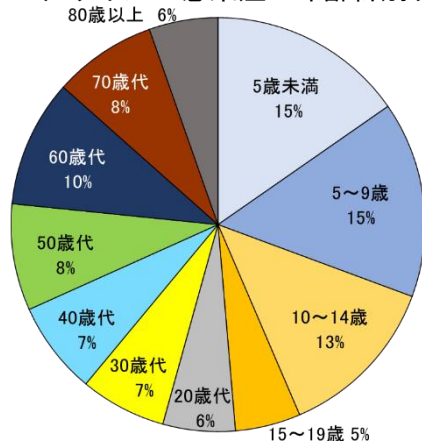


新型コロナウイルス感染症 発生状況

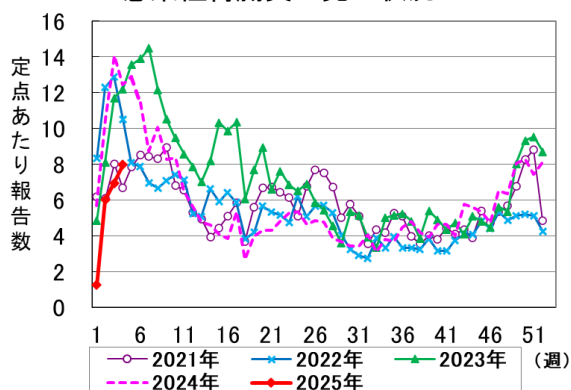


※新型コロナウイルス感染症の 2023 年第 1 週
～第 18 週分のデータは、定点医療機関から
の報告数をもとに算出した参考値

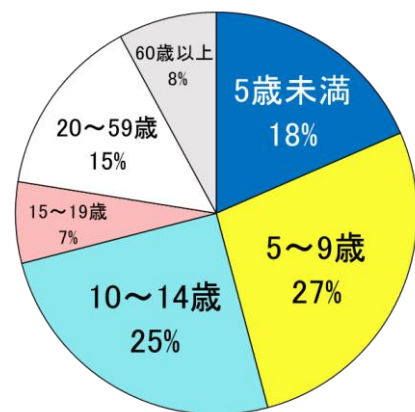
新型コロナウイルス感染症 年齢群別グラフ(第 4 週)



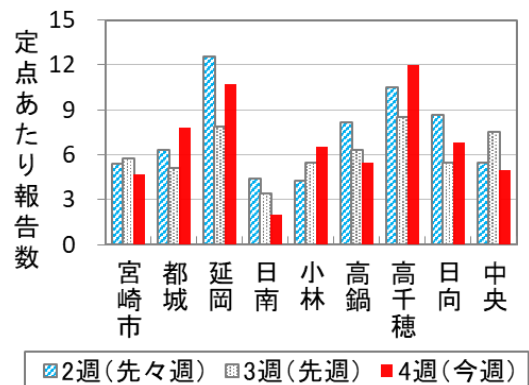
感染性胃腸炎 発生状況



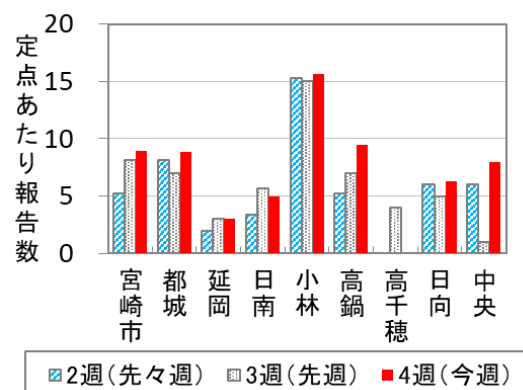
インフルエンザ年齢群別グラフ(第 4 週)



新型コロナウイルス感染症 保健所別推移(3週分)



感染性胃腸炎 保健所別推移(3週分)



★基幹定点からの報告★

○マイコプラズマ肺炎：報告数は6例(定点当たり0.9)で、前週は報告なしであった。日向(3例)、延岡(2例)、高鍋(1例)保健所から報告があった。年齢は10～14歳が3人、0～4歳が2人、15～19歳が1人であった。

○感染性胃腸炎(ロタウイルス)：報告数は1例(定点当たり0.1)で、宮崎市保健所から報告があった。年齢は5～9歳で、病原体の群別は不明であった。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患
宮崎市	インフルエンザ(11.5)
都城	インフルエンザ(11.6)
延岡	インフルエンザ(21.3)
日南	インフルエンザ(27.8)
小林	なし
高鍋	インフルエンザ(10.8)
高千穂	インフルエンザ(10.0)
日向	インフルエンザ(23.0)
中央	インフルエンザ(12.5)、 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(11.0)

※流行警報レベル開始基準値※

・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(8)

※流行注意報レベル基準値※

・インフルエンザ(10)

🇯🇵 全国 2025 年第 3 週の発生動向

□ 全数報告の感染症

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	175 例				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	43 例				
4類感染症	E型肝炎	10 例	エキノコックス症	2 例	回帰熱	1 例
	コクシジオイデス症	1 例	つつが虫病	4 例	デング熱	4 例
	マラリア	1 例	レジオネラ症	37 例		
5類感染症	アメーバ赤痢	3 例	ウイルス性肝炎	1 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	23 例
	急性脳炎	11 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	2 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	21 例
	後天性免疫不全症候群	16 例	ジアルジア症	1 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	24 例
	侵襲性髄膜炎菌感染症	4 例	侵襲性肺炎球菌感染症	116 例	水痘(入院例)	3 例
	梅毒	175 例	播種性クリプトコックス症	2 例	百日咳	140 例
	薬剤耐性アシネトバクター感染症	1 例				

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 65%と減少した。なお、前週と比較して増加した主な疾患はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎で、減少した主な疾患はインフルエンザ、新型コロナウイルス感染症であった。

インフルエンザの報告数は90,712人(18.4)で前週比52%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*(34.1)の約0.5倍であった。沖縄県(33.3)、高知県(32.1)、石川県(31.8)からの報告が多く、年齢群別では15歳未満が全体の約6割を占めた。

新型コロナウイルス感染症の報告数は27,755人(5.6)で前週比79%と減少した。徳島県(9.4)、岩手県(9.4)、福島県(9.4)からの報告が多く、年齢群別では60歳以上が全体の約3割を占めた。

マイコプラズマ肺炎の報告数は410人(0.9)で前週比77%と減少した。兵庫県(3.5)、岐阜県(1.8)、京都府(1.7)、青森県(1.7)、愛媛県(1.7)からの報告が多く、本県の報告はなかった。全国の年齢群別では15歳未満が全体の約8割を占めた。

* 新型コロナウイルス感染症流行前5年間(2015-2019)の当該週、前週、後週(計15週)の平均値

疾病名		第03週	第04週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	1835	872	184	116	149	139	36	65	20	138	25
	定点当り	31.64	15.03	11.50	11.60	21.29	27.80	9.00	10.83	10.00	23.00	12.50
新型コロナウイルス感染症	報告数	340	372	75	78	75	10	26	33	24	41	10
	定点当り	5.86	6.41	4.69	7.80	10.71	2.00	6.50	5.50	12.00	6.83	5.00
RSウイルス感染症	報告数	8	17	4	2	2	1	2	2		1	3
	定点当り	0.22	0.47	0.40	0.33	0.50	0.33	0.67	0.50	0.00	0.25	3.00
咽頭結膜熱	報告数	16	12	7	2	2					1	
	定点当り	0.44	0.33	0.70	0.33	0.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	115	124	60	7	5	21		14		6	11
	定点当り	3.19	3.44	6.00	1.17	1.25	7.00	0.00	3.50	0.00	1.50	11.00
感染性胃腸炎	報告数	250	287	89	53	12	15	47	38		25	8
	定点当り	6.94	7.97	8.90	8.83	3.00	5.00	15.67	9.50	0.00	6.25	8.00
水痘	報告数	10	6	3			2				1	
	定点当り	0.28	0.17	0.30	0.00	0.00	0.67	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00
手足口病	報告数	8	9	7				2				
	定点当り	0.22	0.25	0.70	0.00	0.00	0.00	0.67	0.00	0.00	0.00	0.00
伝染性紅斑	報告数	15	16	8	2	6						
	定点当り	0.42	0.44	0.80	0.33	1.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	13	12	4	5	1	1		1			
	定点当り	0.36	0.33	0.40	0.83	0.25	0.33	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	2										
	定点当り	0.06	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	1	8	4	3	1						
	定点当り	0.17	1.33	1.33	1.50	1.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数		6			2			1		3	
	定点当り	0.00	0.86	0.00	0.00	2.00	0.00	0.00	1.00		3.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数		1	1								
	定点当り	0.00	0.14	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ/新型コロナウイルス感染症定点:58、小児科定点:36(インフルエンザ/新型コロナウイルス感染症定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

● 全数把握対象疾患累積報告数(2025年 第1週～4週 保健所受理分)

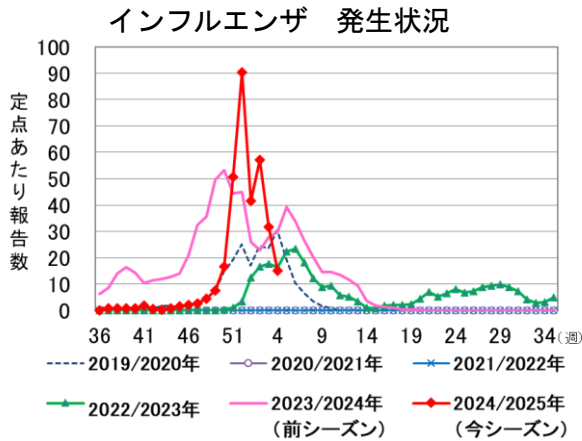
2類感染症	結核	8例(1)		
4類感染症	E型肝炎	1例	つつが虫病	2例
5類感染症	急性脳炎	1例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1例(1)
	侵襲性肺炎球菌感染症	4例(1)	梅毒	6例(1)
	百日咳	21例(11)		
			レジオネラ症	2例
			後天性免疫不全症候群	1例
			破傷風	1例(1)

インフルエンザ情報《県内第4週、全国第3週（再掲）》

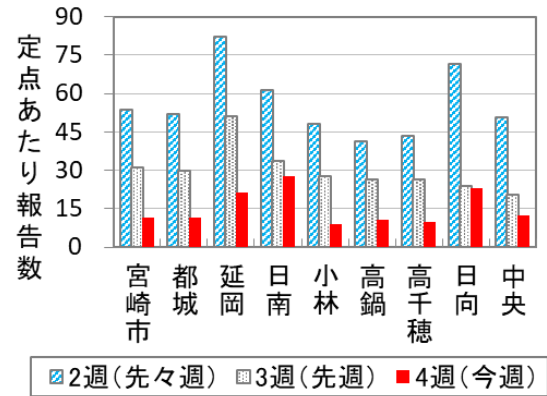
□ 県内第4週インフルエンザ発生動向

1月20日～1月26日までの1週間で872人(15.0)の報告があった。前週比48%と減少した。例年同時期の定点あたり平均値*(53.8)の約0.3倍であった。

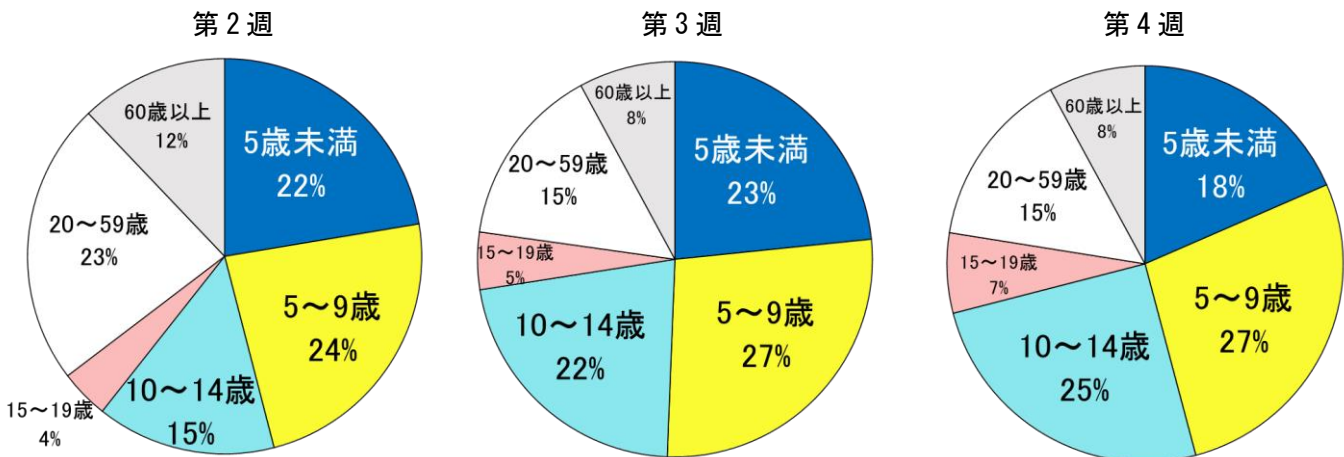
* 新型コロナウイルス感染症流行前5年間(2015～2019)の当該週、前週、後週(計15週)の平均値



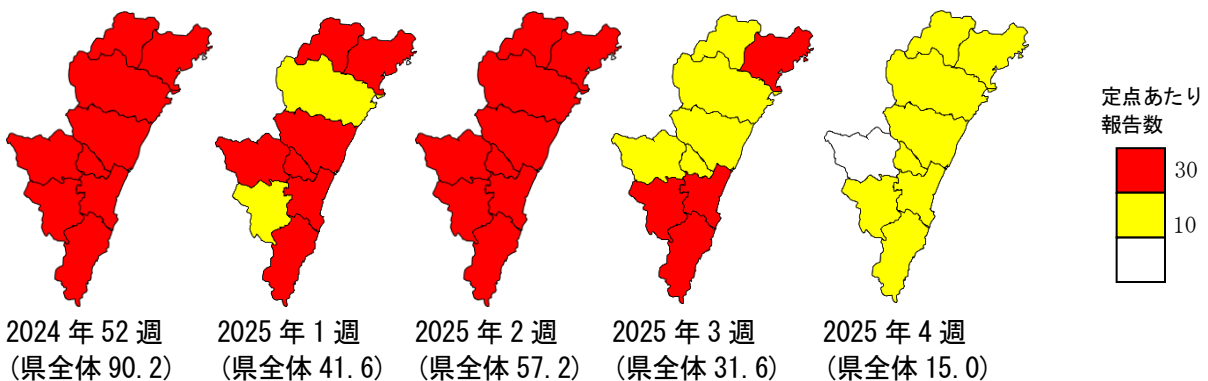
インフルエンザ 保健所別推移(3週分)



インフルエンザ 年齢群別グラフ



保健所別インフルエンザ流行レベルマップ 2024年第52週～2025年第4週



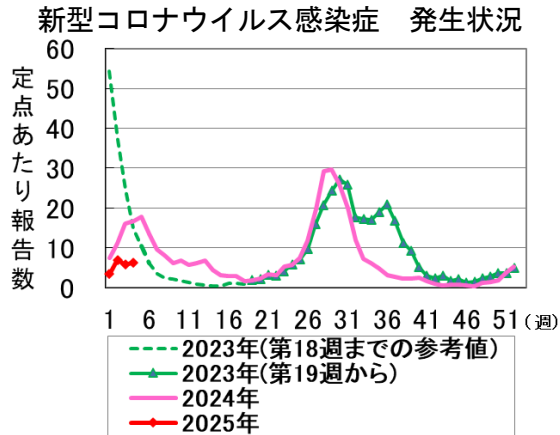
□ 全国第3週インフルエンザ発生動向

1月13日～1月19日までの1週間で90,712人(18.4)の報告があり、前週比52%と減少した。沖縄県(33.3)、高知県(32.1)、石川県(31.8)からの報告が多かった。年齢群別では5歳未満が全体の20%、5-9歳が24%、10-14歳が15%、15-19歳が5%、20-59歳が25%、60歳以上が11%であった。

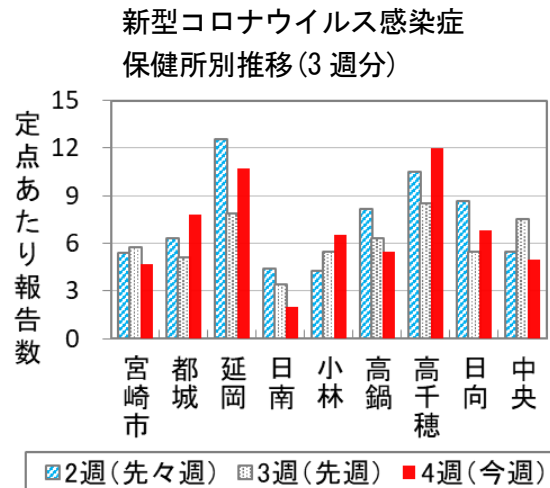
新型コロナウイルス感染症情報《県内第4週、全国第3週(再掲)》

□ 県内第4週 新型コロナウイルス感染症発生動向

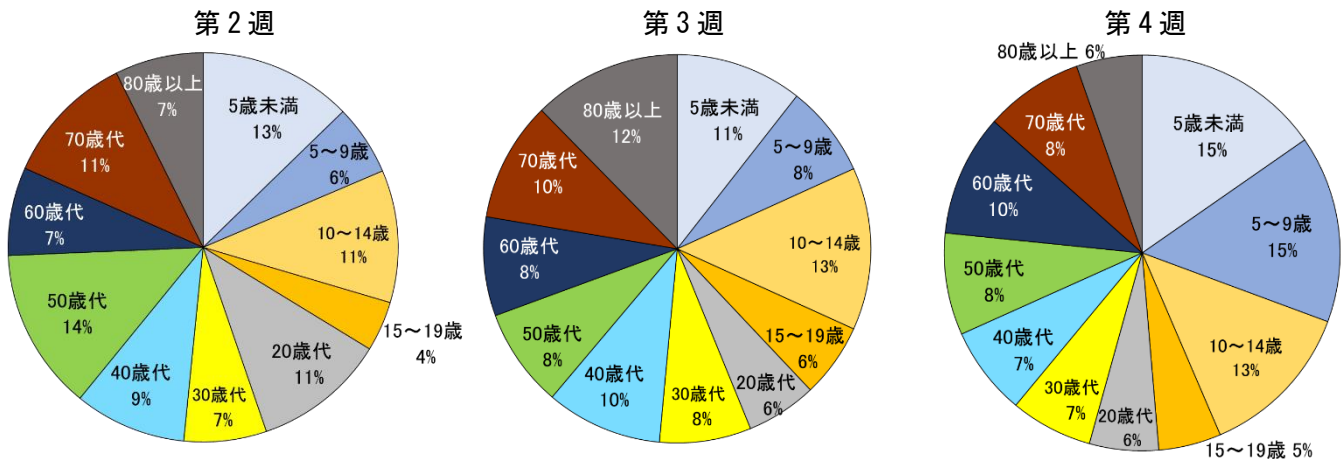
1月20日～1月26日までの1週間で372人(6.4)の報告があり、前週比109%と増加した。高千穂(12.0)、延岡(10.7)、都城(7.8)保健所管内からの報告が多かった。



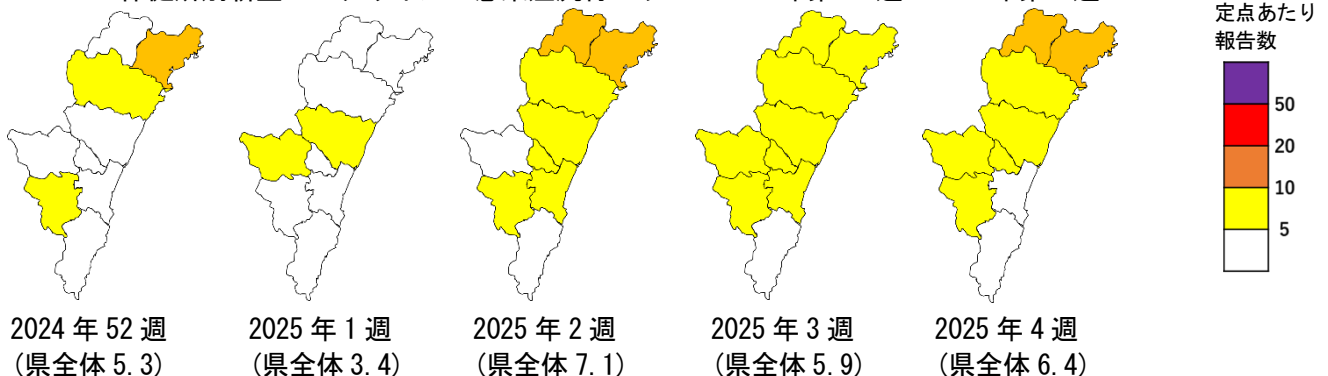
※新型コロナウイルス感染症の2023年第1週～第18週分のデータは、定点医療機関からの報告数をもとに算出した参考値



新型コロナウイルス感染症 年齢群別グラフ



保健所別新型コロナウイルス感染症流行マップ 2024年第52週～2025年第4週



* 県独自の基準によるもの

□ 全国第3週 新型コロナウイルス感染症発生動向

1月13日～1月19日までの1週間で27,755人(5.6)の報告があり、前週比79%と減少した。徳島県(9.4)、岩手県(9.4)、福島県(9.4)からの報告が多く、年齢群別では60歳以上が全体の約3割を占めた。